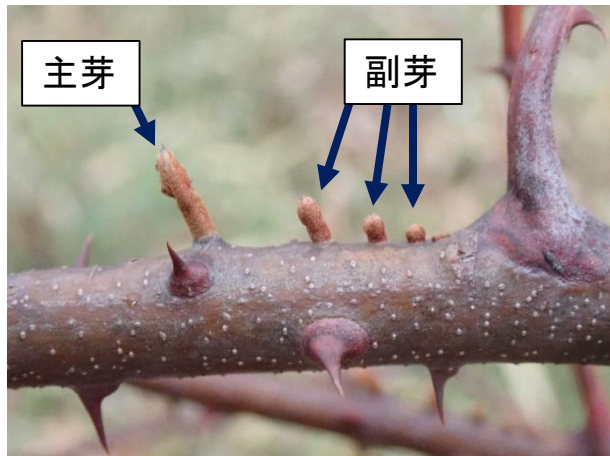


## 植物多様性センターの「冬芽観察」

冬の植物観察における見どころのひとつに冬芽があります。密生した毛やネバネバした樹脂で冬芽を覆ったり、枝の中に埋もれたり、寒くて乾燥した冬を乗り切るための様々な工夫があり、一見地味ですがよく観察すると個性的な存在です。ジャケツイバラなどは副芽という予備の芽を持ち、通常は最初に出た芽(主芽)のみが成長しますが、それが駄目になると次に大きい副芽が成長するしくみを持っています。今年の冬は暖かい日が多く、外を歩きやすいので冬芽の観察を楽しんでみませんか？



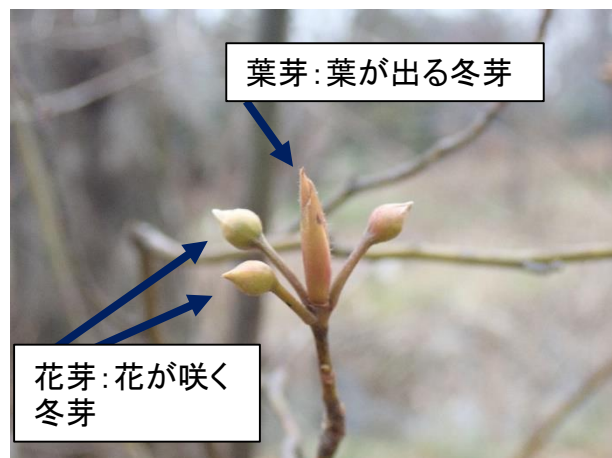
シロダモ:黄褐色で光沢のある毛が生えた冬芽(葉芽)。



ジャケツイバラ:いくつもの冬芽が並んでいる。



サルナシ:葉の付け根(葉枕)に隠れる陰芽という形態の冬芽。



クロモジ:尖った葉芽の周囲に丸い花芽がある。